



マーク ブルーウェル略歴

32年間オーボエ、イングリッシュホーン奏者として、オーストラリアのオペラオーケストラで演奏を続けました。

現在は、オーストラリアのダブルリード協会の会長を務めています。

過去には、フリーランスの奏者として、シドニーシンフォニーオーケストラ、オーストラリアチャンバーオーケストラ、クィーンズランドシンフォニーオーケストラ、等々数多くのオーケストラで演奏した経験があります。

また、オーボエレッスンと同時に広く音楽教育にも強い関心を持っており、オペラオーストラリアが支援する地方ニューサウスウェールズ州の音楽学院や、シドニー音楽学院では、指導プログラムの一員として、若者の育成に10年間携わりました。

35年にわたり、小・中・高、大学、社会人へのオーボエレッスンを続けており、オーストラリアでの音楽試験対策用レッスンや、シドニーユースオーケストラ、オーストラリアユースオーケストラのオーデション向けレッスンも行っています。

現在は、シドニーで様々な私立中・高等学校や州の教育機関にてオーボエのレッスンを行っており、環太平洋音楽キャンプや、州主催の音楽キャンプ、等数々の音楽教育の場でもオーボエを教えた経験があります。

強く関心を寄せるオーケストラの機能について「セカンドオーボエの魅力」と題したプレゼンテーションを通じ、シドニーADRS会議や、2018年のIDRS会議の場にて発表しました。

2023年タイ、バンコクでのダブルリード国際会議(IDRS)では、「オーデションに勝つ方法」を発表する予定です。

一方、長年、音楽家の労働条件の向上に関しても貢献しており、シンフォニーオーケストラ協会(SOMA)の代表でもありました。この代表として、2017年のカナダ、モントリオールや2016年のワシントンでの国際音楽協会の会議に出席しました。

2022年には、メディア・エンターテインメント・アート同盟からゴールド名誉記章を受け取りました。

また音楽とは、別に庭のデザイン、特に日本庭園に興味があり小さな庭のデザイン会社「ガーデン シンフォニー」の経営者でもあります。

最後に、趣味として、速く走る車にも大いに関心があります。